

Kレバー (空錠・内締錠・表示錠・戸襖錠) 取付説明書

取付上の注意

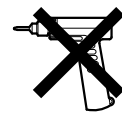
※本製品は一般住宅屋内専用（浴室は使用不可）ですので、玄関や屋外では使用しないでください。

※電動ドライバーは使用しないで、手動ドライバーでしっかり止めてください。

ネジの締め過ぎにより、ネジ穴をこわす、座本体の変形・破損、扉のヘコミによる作動不良などを起します。

また、ネジの締め付け不足により、ハンドルや座がガタガタし、いずれ外れてしまい、重大な事故へつながります。

一般住宅屋内専用
(浴室は使用不可)



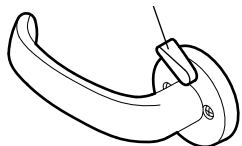
電動ドライバーは
使用しないで下さい。



座取付後、ハンドルを取付ける前に無理にサムターンを回しますと部品が破損し、施錠出来なくなります。



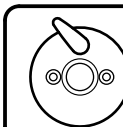
サムターンは両側のハンドルを取付けた後に動かしてください。



※ハンドルの取付けは図の様な上下対称ハンドルの場合、角芯付ハンドルを必ず室内側に取付ける様をお願いします。上下非対称の場合はデザインの向きに合わせて、ハンドルを取付けてください。

10 角芯付ハンドル

室内側



取付時はサムターンを解錠側の左に傾けてください。

3 サムターンを左に傾けて取付

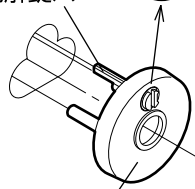


9 座取付ネジ
座及び扉の変形に注意して、手回しドライバーでしっかり締め付けてください。

7 内側座

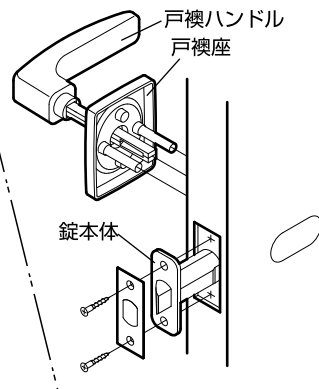
6 コイン溝を縦

施解錠バー



5 外側座

戸襖錠はバックセット60mmです。



室外側

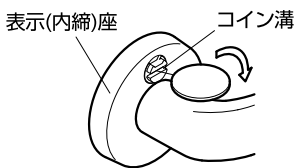
10 ハンドル

11 ハンドル止メネジ

ハンドル止メネジが緩むと、ハンドルが外れて作動出来なくなる場合があります。手回しドライバーでしっかり締め付けてください。

※扉の開く向きに合わせて回転させます。

非常解錠方法



表示(内締)座のコイン溝にコインを差込み、時計周りに90°回転させます。

取付方法

- 裏面の取付型紙を参考にして、扉に彫込みをしてください。
- 1 錠本体を刻印の向きに扉に差し込んでください。
- 2 ラッチボルトの向きを扉の勝手に合わせてから 3 フロントプレートを取付け、4 錠取付木ネジで固定してください。(戸襖錠の場合は、錠本体を回転させます。)
- 5 外側座の 6 コイン溝を縦、7 内側座の 8 サムターンを上図のように解錠側の左に傾けて、サムターンの穴に外側座の施解錠バーを差し込み座を組合わせ、9 座取付ネジで固定します。(この時サムターンは動かさないでください。)
- 両側の 10 ハンドルを差し込み、11 ハンドル止メネジで固定し、ハンドルがスムーズに動くことを確認してください。
- サムターンがスムーズに動くこと、また正しく施解錠することを確認してください。
- ストライクは、裏面を参考にしてラッチボルトの位置に合わせて取付けてください。

取扱上の注意

- ハンドル止メネジや座取付ネジが緩んだ状態で使用していると、故障の原因となったり、レバーハンドルが外れる等により、ドアが開かなくなる重大な事故へつながります。ハンドル止メネジ及び座取付ネジの増し締めをお願い致します。
- レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないでください。

注意 ハンドルを片側または両側とも取外した状態でドアが閉まると、ドアを開ける事が出来なくなります。ハンドルを外した状態では使用しないでください。

表面のお手入れについて

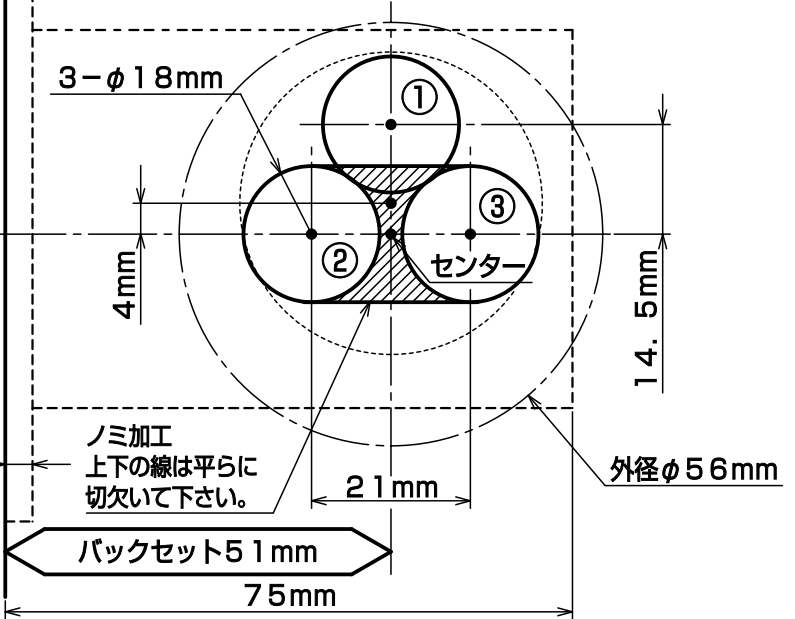
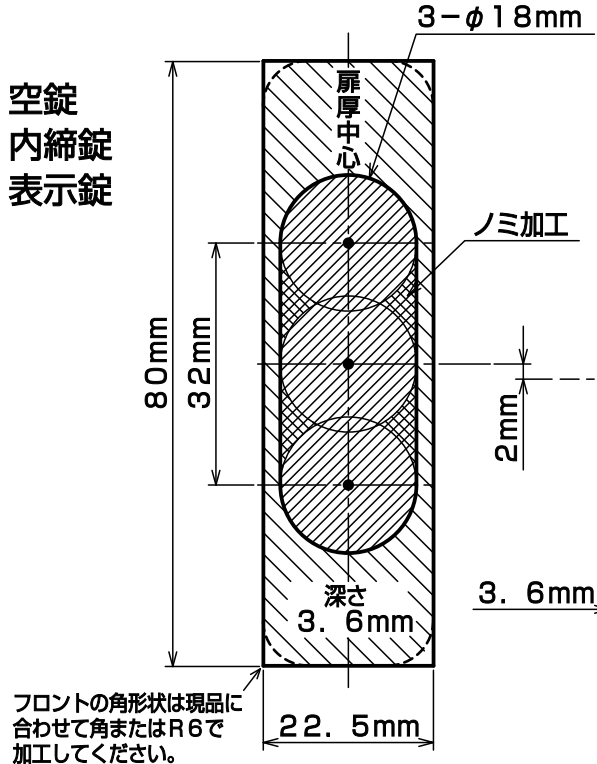
- 軽い汚れの場合は、柔らかい布で軽く拭きしてください。
- から拭きでは落ちない汚れの場合は、水を含ませた柔らかい布で水拭きし、その後から拭きしてください。
- 水拭きで落ちない汚れの場合は、柔らかい布に3%程度に薄めた中性洗剤を含ませて拭き取り、その後洗剤が残らないようによく水拭きし、最後から拭きしてください。

取付型紙

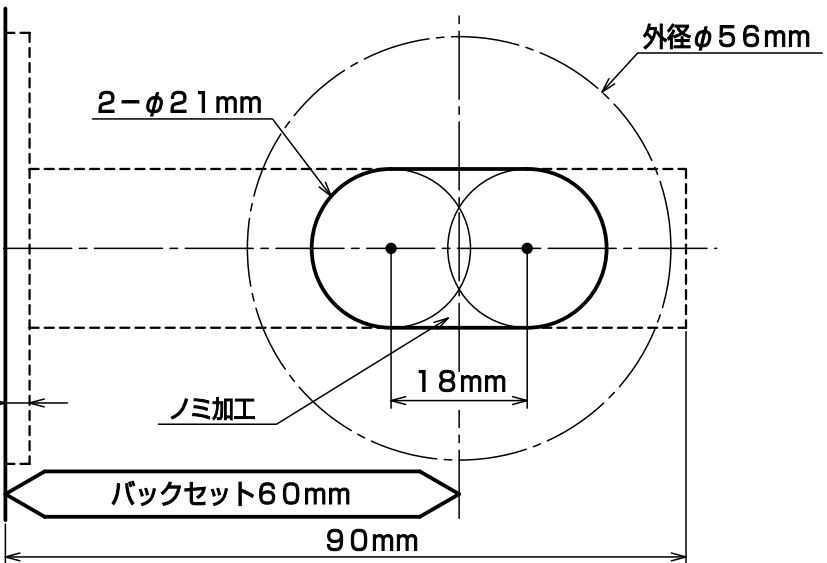
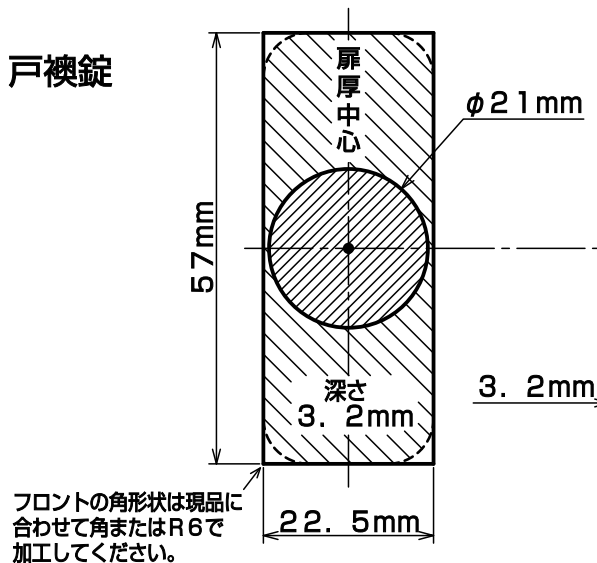
使用可能扉厚
28~40mm

注意

- ※扉表面の穴を先に、大手面からの穴は後にあけてください。
- ※空錠はφ18mm穴を横に二つあけて下さい。②③
- ※表示錠・内締錠はφ18mm穴を①②③の順にあけてください。
- ※一つ穴(φ40mm)の場合はセンターより4mm上を中心として穴をあけてください。

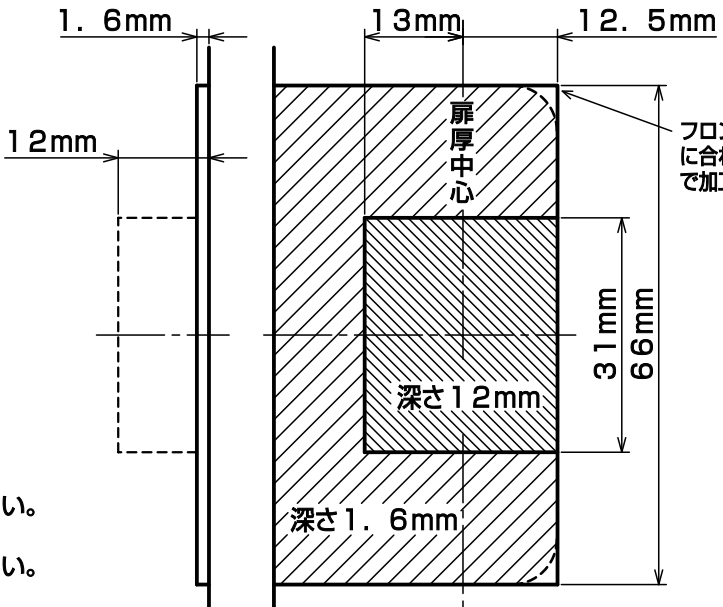
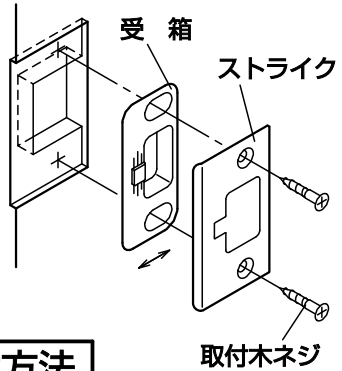


フロントの角形状は現品に合わせて角またはR6で加工してください。



フロントの角形状は現品に合わせて角またはR6で加工してください。

調整ストライク取付図



フロントの角形状は現品に合わせて角またはR6で加工してください。

取付方法

1. 切欠図を参考にして、枠に彫込みをして下さい。
2. 上図のように取り付け、仮止めして下さい。
3. 受箱をラッチボルトに合わせて動かして下さい。
4. 取付木ネジで固定して下さい。